

# 地域おこし協力隊“奔走中”

地域振興係

昨年度から着手し、TVや新聞などでも取り上げていただいている、立科町空き家活用プロジェクトですが、大枠がやっと固まってきました。こちらのプロジェクトは、立科町にある空き家を実際に活用しながら、新しい賃貸の仕組みと家の活用の仕方提案するものです。空き家の利用を促進する際にネックとなる、改修費負担を大家さんではなく借りる側が負担し、その代わりに通常よりも長い期間、格安の賃料で使わせてもらい、理想的な暮らしを作れるというものです。賃貸なので、契約期間が終われば大家さんの手元には改修済みのきれいになった物件が戻ってきます。手放す予定はないけど維持管理が大変だという大家さんと、理想の暮らしをしたいけど、家賃が重いという利用者さんの双方が嬉しい仕組みを目指しています。

現在進めている計画では、家の一部をカフェスペースにし、離れにはアーティストが滞在しながら制作ができる宿泊スペースを作っています。アーティスト・イン・レジデンスというプログラムで、首都圏などからアーティストを招致し、滞在中に畑や農作業体験、空き家の改修体験などを行いながら町の環境や地域の人たちと触れ合い、作品を作ってもらったり、リサーチをしてもらうことで、立科町との新しい関わりを作るといいます。敷地内には展示ギャラリーとテラス席のある庭もつくり、敷地の中のどこでものどかな時間を楽しめるような場所にしようと計画しています。時間はかかるプロジェクトですが、移住希望者や、空き家の活用方法に悩んでいる皆さんにもぜひ知ってもらいたいと思っています。

●移住定住、空き家担当の永田です。  
気持ちの良い季節になりましたね。



## DX

Digital Transformation

デジタル・トランスフォーメーション

デジタル技術の活用による変革



こんにちは。デジタル化推進専門官の渡邊です。今回は立科町が取り組んでいる「DX（デジタルトランスフォーメーション）」についてお話ししたいと思います。

「DX」とは「データやデジタル技術を使ってサービスや会社のしくみ、働き方を変えることで、世の中を便利で快適にすること」という意味です。仕事のやり方を見直して作業効率を向上させることで、働き方やサービスなど、私たちの身の回りにさまざまな変革をもたらします。

DXには「行政DX」や「地域DX」などいくつか種類があります。立科町役場は「行政サービス」と「生活で利用するサービス」の両面で住民の皆さんに便利で快適だと感じてもらえる取り組みを進めていきます。

4月に着任してから、立科町役場のDXを推進するために着々と準備をしてきました。少しずつですが見聞きされる機会があると思いますので、楽しみにしていただければと思います。